

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市麻生スポーツセンター	評価対象年度	平成27年度
事業者名	シンコースポーツ株式会社	評価者	地域振興課長
指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日	所管課	麻生区役所地域振興課

2. 事業実績

利用実績 (単位:人)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	19,647	20,344	21,278	20,555	17,265	20,835	23,430	21,895	19,891	19,617	24,346	24,342	253,445
収支実績 (単位:千円)	科 目				予算額	決算額	備 考						
	I 収入の部												
	1	指定管理料		49,380	49,380								
	2	利用料金収入		29,500	29,166	個人利用、団体利用							
	3	駐車場利用収入		5,095	5,136								
	4	その他収入		24,610	27,377	スポーツ教室、運動サポート室							
	5	物販レンタル収入		4,145	4,879	自販機手数料、物品販売、レンタル							
	6	自主事業売上充当		0	93	コピーサービス、マッサージ機							
	合計				112,730	116,031							
	科 目				予算額	決算額	備 考						
	II 支出の部												
	1	管理運営費		83,856	88,451	人件費、光熱水費、修繕費、委託費等							
	2	事業費		22,766	23,282	賃金、委託費等							
	合計				106,622	111,733							
サービス向上の取組	<p>○施設の稼働率を調査し、空いたコマを利用して定期教室を増設・新設したり、イベントを開催している。</p> <p>○アンケート調査を実施し、意見・要望等を基にサービス向上の取組を継続的に行っている。</p> <p>○経年劣化による空調設備の不調に際して、熱中症などの事故が発生する危険性が高い、研修室及び子供体育室に、迅速に個別空調機を設置した。</p> <p>○割引率と利便性を向上した回数券(6枚セットで5枚分の料金)の設定を行っている。</p> <p>○年末年始の開館日を延長し、利用者の運動の機会を増やすよう努めている。</p> <p>○24時間遠隔監視システムの導入により、設備トラブルによる利用機会の損失を防いでいる。(平成27年度中に施設設備トラブルによる臨時休館等の事態発生なし)</p> <p>○ホームページ、ブログの随時更新に加えFacebook、ツイッター、ラインといったSNSを活用して、最新の情報の提供に努めている。また、市政だより、地域情報誌へのお知らせ・広告の掲載、「あさおスポーツだより(年3回発行)」「あさスポ通信(毎月発行)」の発行により、紙媒体でも区民へのスポーツ情報の発信を行っている。</p> <p>○麻生区スポーツ推進委員会や総合型スポーツクラブわ・わ・わ・クラブとの連携事業を定期的・継続的に行っている。</p> <p>○集客力を高めるため、体組成の無料測定会やフリーマーケットを定期的に開催しているほか、地域のスポーツ団体が主催するイベント等においても体組成の無料測定ブースを設けるなど、新規来館者の呼び込みに努めている。</p>												

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階 (加点割合)	評価点
総合的な運営状況	基本方針	公の施設としての理念を尊重し、社会体育施設としての役割や目的を果しているか。	5	3(0.6)	3
	事業成果	事業実施による成果の測定・検証が適切に行われているか。	5	3(0.6)	3
	(評価の理由)	<p>○事業計画に基づいた施設の管理運営がなされている。</p> <p>○ふれあいネット規約に基づいて公平・公正な施設利用の推進に努めている。</p> <p>○人気のある種目(卓球・バドミントンなど)の個人利用における受付・利用方法を工夫し、利用中も細かく配慮を行う(利用時間・場所の調整)など、継続利用者だけでなく、初心者や家族連れにも利用しやすく、誰もが参加しやすい環境づくりに努めている。</p> <p>○利用者からのアンケート調査や苦情・要望などを迅速に施設の管理運営に反映し、改善に努めている。</p> <p>○施設運営管理について目標設定・分析・改善をシステム化し、継続的な改善を図っている。</p>			
管理業務の実施状況	維持管理等の再委託	施設利用提供に支障をきたすこと無いう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に行っているか。	5	3(0.6)	3
	休館日・開館時間	安全で適正な管理運営を確立するとともに、利便性や利用サービスの向上に留意した施設提供を行っているか。	5	3(0.6)	3
	利用料金	公平性・平等性及び受益者負担について留意し利用料金の設定を行うとともに、利用者の利便性や利用サービスの向上を図っているか。	5	3(0.6)	3
	諸施設の活用と提供サービス	効果的な諸施設の活用及び提供サービス(飲料・補食品の販売を含む)の向上を図っているか。	5	4(0.8)	4
	個人情報保護や情報公開	個人情報の保護や情報の公開を適切に行っているか。	5	3(0.6)	3
	利用促進	施設の利用促進に向けた取り組みが成されているか。	5	4(0.8)	4

管理業務の実施状況	人員配置	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備され、円滑な施設運営に必要な人員配置(資質・ローテーション等)を行っているか。	5	3(0.6)	3
	職員研修	各種研修等を行うなど、人員の資質の向上を図っているか。	5	3(0.6)	3
	危機管理	利用者の安全の確保及び有事の際の適切・迅速な対応のための危機管理体制がとられているか。	5	3(0.6)	3
	(評価の理由) ○事業計画に基づいて適正に実施している。 ○年末年始の開館日を延長し、利用者の運動の機会を増やすよう努めている。 【12/29実績】9団体(444名・稼働率75%)、トレーニング176名 【1/3実績】9団体(73名・稼働率75%)、トレーニング145名 ○スポーツ用品の販売・レンタル、栄養補助食品・飲料の販売を充実させ、利用者サービスの向上に努め、物販・レンタルの大幅な売上増を達成している。 【平成27年度 物販・レンタル 前年度比245%増】 ○施設の利用促進のため、ホームページ、ブログ、Facebook・ツイッター・ラインといったSNSや、広報誌による最新の情報の提供に努めている。また、体組成無料測定会やフリーマーケットを定期的に開催したほか、区分変更により生じた空き時間や比較的稼働率の低い研修室や子供体育室などを有効活用して定期教室を増加させるなど、積極的な集客に努めている。 【教室延べ受講者数 平成26年度 28,529名 → 平成27年度 32,552名】 ○高齢者向けの教室(「らくらくエアロ」、「いす掛け筋トレ教室」)を新設し、参加者は好調に推移している。少子高齢化社会を見据え、活力ある地域づくりに貢献している。				
事業実施状況	施設利用提供業務	生涯スポーツ振興を図るための施設利用提供を行っているか。	5	4(0.8)	4
	個人開放事業	生涯スポーツ振興を図るための個人開放事業(トレーニング室を含む)を実施しているか。	5	4(0.8)	4
	教室等事業	生涯スポーツ振興を図るためのスポーツ教室やイベント等事業を実施しているか。	5	4(0.8)	4
	スポーツ情報提供及び相談業務	生涯スポーツ振興を図るための情報の提供及び相談業務等を行なっているか。	5	4(0.8)	4
	指導者・ボランティアの育成	地域スポーツ指導者の育成やボランティア等の育成のための事業を実施しているか。	5	3(0.6)	3
	総合型地域スポーツクラブの支援	総合型地域スポーツクラブの活動支援を行っているか。	5	4(0.8)	4
	自主事業に関する事項	利便性やサービスの向上のための自主事業等を実施しているか。	5	4(0.8)	4
(評価の理由) ○事業計画に基づいて適正に実施している。 ○「ゆうゆう広場あさお」をはじめとする区内各種団体のイベントや区役所のこども支援事業(大きなあれ、麻生っ子)、保健福祉センター関係のイベント(輝いてあさお)等の幅広い活動の場所として施設を提供しているほか、年一回の利用者懇談会に加え、利用団体との意見交換会を毎月実施するなどして、適切な施設利用提供に努めた。 ○体組成無料測定会を定期的に開催するなどして、トレーニング室の新規利用を促進し、利用者数が26年度57,379名から27年度60,103名に増加した。(近隣のトレーニング施設であるヨネツィー王禅寺が、改修工事に伴い長期間閉鎖されたことも利用者数増加の一因となり過去最高の利用者数となった) ○スポーツ教室の受講者数、収入をそれぞれ拡大・増加させた。(教室数については、運営の効率化により176講座→164講座に縮小) 【26年度に対して27年度は、受講者数:28,529名→32,552名、収入:21,704,920円→25,019,300円】 ○施設の利用、イベントなどへの問い合わせや、スポーツや健康づくりに関する様々な相談に応じられる体制を整え、適切に対応している。また、運動サポート利用者が26年度267名→27年度369名と大幅に増加している。 ○館内に総合型スポーツクラブ「わ・わ・わクラブ」の広報を行うスペースを確保した上、「あさおスポーツだより(年3回発行)」において紹介を毎号掲載するなど積極的な広報を行うとともに、同クラブとの共催イベントを1回開催したほか、同クラブの教室に指導者を派遣し、その活動の支援に努めた。 ○バウンドテニス大会において、提供品及び参加者の増加に努めた。					
収支状況	安定性	収支計画に基づく安定した運営を行っているか	5	4(0.8)	4
	効率性	サービスの維持・向上に留意した上で効果的・効率的な予算執行が図られているか。	5	4(0.8)	4
	(評価の理由) ○収支計画に基づいて適正に事業を実施し、安定した収支状況を達成している。 ○積極的なスポーツ振興事業の拡充を行い、個人利用・団体利用者数の増加やスポーツ教室の増加に加え、自販機売り上げ(手数料)の増により、27年度当初予算を上回る収入を計上した。 ○団体利用に影響を与えないよう留意しながらスポーツ教室を増加させており、効率的で効果的な予算執行が図られている。				

4. 総合評価

評価点合計	70	評価ランク	B
-------	----	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

○他施設における指定管理者として培ったノウハウや、当該施設を管理する中で得た経験を活かしながら、安定した管理運営を行っている。

○地域のスポーツ振興の中核を担う施設としての責務をよく自覚し、スポーツ活動の場を提供するだけでなく、インターネットや紙媒体を利用したスポーツ情報の発信に加え、総合型地域スポーツクラブやスポーツ推進委員会などの地域のスポーツ団体だけでなく、町内会などのその他の地域団体との連携を深め、これらの団体と協働で継続的に事業を行っていることは地域に根ざした活動として評価できる。

○スポーツ教室の増設、個人利用の受付・利用方法の変更、フリーマーケットや体組成測定会の開催など、集客を高めるための様々な取り組みや地道な努力が年間利用者の増加につながっていると評価できる。

○施設・設備の維持管理についても、継続的に保守点検が実施され、館の運営に支障がないよう管理されている。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

○平成28年度から新たに5年間の指定期間がはじまり、指定管理も6年目となるため、当該施設で培った経験と、指定管理者が持つノウハウを最大限に活用し、さらに多くの方がスポーツに親しめるよう、より意欲的な運営を行うことが求められる。同時に、引き続き、公平で平等な利用を確保しつつ、経済効果にも留意し、公共性と効率性の両立を目指すように努め、サービス水準の向上とともに効率的な管理運営による経費節減に努める必要がある。

○引き続き、総合型地域スポーツクラブやスポーツ推進委員会をはじめとする地域のスポーツ団体やその他の地域団体との連携を深め、地域のスポーツ活動を担う人材育成やスポーツ情報の発信、スポーツの相談業務等に取り組み、総合的な地域のスポーツ振興を担う施設としての役割を果たしていくことを期待する。

○施設で提供するプログラムにおいては、アンケート調査等で利用者のニーズを十分踏まえた上で、ニュースポーツや高齢者・障害者・子供・親子・働く人向けの教室を充実させ、すべての人がスポーツに参加できる環境づくりを期待する。

○時間的な余裕の少ない子育て世代や、来館機会の少ない人向けに、自宅や職場などで気軽に行えるトレーニングの紹介等、スポーツ情報発信手段の拡大と、発信方法の工夫により、効果的で魅力のあるスポーツ情報の発信に期待する。

○築30年目を迎えた施設・設備の維持管理について、継続的・計画的な保守管理を行い、所管課と連携して施設・設備の経年劣化への対応を図りながら、引き続き適切な施設の維持管理に努め、利用者が安全で安心してスポーツを楽しめる環境を確保し、提供することが求められる。